

科目名 「 口腔衛生学 I 」

| | | |
|----------------------|---|-------|
| 学年 | 学期 | 科目責任者 |
| 1 | 前学期 | 後藤田宏也 |
| 科目ナンバリング | B-5-③- I -13 | |
| 単数数 | 2 | |
| 学修目標 (GIO) | 口腔衛生学では、歯科疾患（特に齲蝕と歯周疾患）の予防について取り扱う。前期は歯科疾患の自然史をよく説明できることにより、歯科疾患予防の理論と方法を主として個人口腔衛生の立場から理解し、歯科衛生士の果たすべき役割について考える。 | |
| 担当教員 | 後藤田宏也・田口千恵子・鈴木到 | |
| 教科書 | 「新歯科衛生士テキスト 口腔衛生学 -口腔保健統計を含む-」 学建書院 学生版 だれにでもできる 小さな努力で 確かな効果 砂書房 | |
| 参考図書 | | |
| 評価方法 (E V) | 平常試験と適宜、小テストを実施を行い、最終評価とする。ただし、最終評価が60点に達しない場合には、追再試験期間に再試験を行う。 | |
| 学生へのメッセージ オフィスアワー | 前期と後期の一年間続く科目です。それだけ学ぶ範囲も広く、深いものがあります。歯や口の健康についてテレビやネットで話題になっていたら、それがどんなことなのか注意を払って調べてみてください。興味がわいたら、学校で教員や友人、身近な人たちと話題にしてみてください。そんなところから、口腔衛生学で学ぶこととの思わぬ関連が見つかるはずです。 | |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容 | 担当教員 |
|------------|-------------------|--|------|
| 第1回 4/6 | 口腔衛生学の意義 口腔の健康 | <p>【授業の一般目標】 口腔衛生学を学ぶ意義を説明できる。口腔の健康とは何かを知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 健康の概念と口腔衛生の関わりに関する事柄を説明できる。歯や口腔の健康と発病について、疾病の自然史と予防の考え方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 一般に健康とはどういうことだと考えられているか調べておく。 復習時間：60分 口腔の健康を概説できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> | 後藤田 |

| | | | |
|---------------------|----------------------------|---|-----------|
| <p>第2回 4/13</p> | <p>歯・口腔の発育変化</p> | <p>【授業の一般目標】 歯や口腔がどのように発育するかを学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 歯と口腔の発生、歯の形成期間、歯の萌出、脱落および交換について説明できる。 歯や口腔の発育に関して、栄養、遺伝、その他影響をもたらす因子について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 歯の名称(歯種)、歯の構造を調べて、その名前を漢字で書けるようにしておく。 復習時間：60分 歯・口腔の発育変化を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>田口</p> |
| <p>第3回 4/20</p> | <p>歯と口腔の機能</p> | <p>【授業の一般目標】 歯と口腔の機能について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 咀嚼、味覚、発生などの、歯や口腔の機能とその重要性を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 歯と口腔は、私たちの生活のなかで、どのような役割を果たしているか調べておく。 復習時間：60分 歯と口腔機能を説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>田口</p> |
| <p>第4回 4/27</p> | <p>歯と口腔の清潔 1唾液と微生物</p> | <p>【授業の一般目標】 歯と口腔を清潔にするために、唾液と微生物について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 歯を取り巻く環境としての、唾液と微生物について知り、歯や、口腔との関係を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 唾液と微生物は、私たちの生活とどのような関係にあるか調べておく。 復習時間：60分 唾液および微生物の影響を説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>鈴木</p> |
| <p>第5回 5/11</p> | <p>歯と口腔の清潔 2食品</p> | <p>【授業の一般目標】 歯と口腔を清潔にするために、食品について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 食品と口腔の関係について説明できる。特に、齶蝕に関係の深い蔗糖の持つ性質について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 私たちの生活のなかで砂糖はどのように扱われているか調べておく。 復習時間：60分 含糖食品について説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>鈴木</p> |
| <p>第6回 5/18</p> | <p>歯と口腔の清潔 3歯の沈着物</p> | <p>【授業の一般目標】 歯と口腔を清潔にするために、歯の沈着物について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 歯への沈着物の種類を知り、それぞれの成分、成因、性質を説明できる。特に、デンタルプラークおよび歯石の口腔衛生における意義における意義を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 歯の汚れについて調べておく。 復習時間：60分 それぞれの歯の沈着物について特徴を説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>田口</p> |

| | | | |
|----------------------|--|---|------------|
| <p>第7回 5/25</p> | <p>歯と口腔の清潔 4口臭</p> | <p>【授業の一般目標】 歯と口腔を清潔にするために、口臭について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 口臭の分類, 測定法, 予防法について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分 口臭の原因として考えられるものに何があるか調べておく。 復習時間: 60分 口臭について説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>田口</p> |
| <p>第8回 6/1</p> | <p>歯科疾患とその予防</p> | <p>【授業の一般目標】 歯科疾患とその予防について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 齲蝕および歯周疾患を中心にそれらの病態の概要と予防法を把握する。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分 齲蝕および歯周疾患を中心にそれらの病態の概要を調べておく。 復習時間: 60分 齲蝕および歯周疾患を中心にそれらの病態の概要と予防法を説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>後藤田</p> |
| <p>第9回 6/8</p> | <p>齲蝕の予防 1 齲蝕発病の要因</p> | <p>【授業の一般目標】 齲蝕の予防のために、齲蝕発病の要因について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 齲蝕発病理論を学び、齲蝕発病に関する因子とその組み合わせについて説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分 むし歯の原因として考えられる事がらを調べておく。 復習時間: 60分 齲蝕発病に関する因子を説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>後藤田</p> |
| <p>第10回 6/15</p> | <p>齲蝕の予防 2 予防法の実際</p> | <p>【授業の一般目標】 齲蝕の予防のための、複数ある予防法の実際について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 齲蝕発病に関わる因子ごとに、現在までに有効と考えられている予防方法について説明できる。齲蝕活動性試験による齲蝕の発病, 進行の予測について、その理論と実際を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分 むし歯予防の方法にはどのようなものがあるか調べておく。 復習時間: 60分 齲蝕活動性試験について説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>田口</p> |
| <p>第11回 6/22</p> | <p>歯とフッ化物 1 フッ化物の毒性 歯科への応用</p> | <p>【授業の一般目標】 齲蝕予防に有効なフッ化物について、フッ化物の毒性と歯科への応用の経緯について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 現在、最も効果があるとされる、フッ化物による齲蝕予防を学ぶに際し、フッ素の持つ毒性について説明できる。特に、歯のフッ素症の疫学的解明過程を学び説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分 フッ素がどのようなところで利用されているか調べておく。 復習時間: 60分 フッ化物応用のメカニズムと適切な利用方法を説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>田口</p> |

| | | | |
|----------------------|-------------------------------------|--|------------|
| <p>第12回 6/29</p> | <p>歯とフッ化物 2 フッ化物による齲蝕予防法の実際</p> | <p>【授業の一般目標】 齲蝕予防に有効なフッ化物について、フッ化物による齲蝕予防法の実際について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 フッ化物による齲蝕の予防の全身的応用法、および局所的応用法について学び、理論と実際の処置方法を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 フッ素を使ったむし歯予防剤について、自宅に何があるか調べておく。 復習時間：60分 実際のフッ化物応用方法について説明できる。【準備学修項目】 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>田口</p> |
| <p>第13回 7/6</p> | <p>歯周疾患の予防</p> | <p>【授業の一般目標】 歯周疾患の予防について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 歯周疾患の分類、病因および予防法について学び特に、局所的予防方法の実際について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 歯周病という病気は、どのような病気か調べておく。 復習時間：60分 歯周病の予防方法を説明できる。【準備学修項目】 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>後藤田</p> |
| <p>第14回 7/13</p> | <p>不正咬合・その他の疾病、異常とその予防</p> | <p>【授業の一般目標】 不正咬合・その他の疾病、異常とその予防について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 不正咬合の種類とその予防法、歯科疾患と全身との関連、歯性病巣感染の考え方を学ぶ。その他、口腔軟組織疾患、先天異常について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 歯科矯正とはどんなことか調べておく。 復習時間：60分 不正咬合の問題点を説明できる。 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>鈴木</p> |
| <p>第15回 7/20</p> | <p>平常試験と解説</p> | <p>【授業の一般目標】 口腔衛生学の重要性について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 口腔衛生学の重要性について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分 後期に学んだ分のノート、プリント類を順番をつけて整理しておく。 復習時間：60分 口腔衛生学の重要性を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p> | <p>後藤田</p> |